

【新規格付】 日本学生支援機構

第18回日本学生支援債券： AA

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

経済的理由により修学が困難な生徒や学生に無利子もしくは低金利で資金を貸与する奨学金事業を担う独立行政法人。奨学金事業は教育政策上、重要との認識が格付を支えている。

2010年度政府予算案における大学奨学金は貸与人員ベースで2009年度予算比3.5万人増の118万人、事業費ベースで580億円増の1兆55億円となった。民主党政権下でも奨学金事業の重要性は変わっていないと言える。

一方、新規の奨学金貸与の伸びが続いていることもあり、リスク管理債権(3カ月以上の延滞債権)が増加している。2008年6月に有識者会議が奨学金返還促進策について答申し、それを受けて機構は延滞債権の回収・管理の強化を進めている。貸倒損失が発生しても制度上、政府の回収不能債権補填金によって処理されるが、債権回収が進まなければ国費負担の増加につながるだけに、目に見える形で改善を進めていくことが必要である。

また、2009年11月に実施された行政刷新会議の事業仕分けにおいて、ワーキング・グループは回収の強化などに並んで独立行政法人のあり方についても見直しを行うと判定した。政府は2009年12月末に独立行政法人の抜本的な見直しを行うことを閣議決定しており、2011年度予算の概算要求の時期にまで改革案を取りまとめると見られる。奨学金事業の重要性や民間代替の難しさを考えると、機構の債券の元利払いの確実性が低下するような見直しが行われる可能性は小さいと見ているが、組織の改廃の有無を含めどのような見直しを実施されるのかは未知数だ。政府・民主党の議論の内容を注視していく。

当該格付に適用した主要な格付方法は「政府系機関の格付の考え方」である。この格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに下記ウェブサイトに掲載している。

<http://www.r-i.co.jp/jpn/rating/rating/methodology.html>

【格付対象】

発行者：日本学生支援機構

名称	第18回日本学生支援債券
発行額	370億円
発行日	2010年2月8日
償還日	2012年2月20日
表面利率	0.317%
格付	AA(新規)
受託会社	三井住友銀行
担保	一般担保付
備考	会社法の規定に基づく社債管理者ではなく、独立行政法人日本学生支援機構法に基づく受託会社が置かれる

☆発行体格付： AA [格付の方向性：安定的]

発行体格付は、発行体が負うすべての金融債務についての総合的な債務履行能力に対するR&Iの意見である。発行体格付は、原則としてすべての発行体に付与する。個々の債務等の格付は、契約の内容や回収の可能性などを反映し、発行体格付を下回る、または上回ることもある。